

## 海外安全対策情報（2017年4月～6月：ナミビア）

### 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

最新の犯罪統計のとおり、首都ウィントフックが位置するコマス州での犯罪発生件数が多いことに変わりはないものの（ナミビア警察発表統計：<http://www.nampol.gov.na/>）、国境付近、特にアンゴラとの国境を接する北部のオハングエナ州では、近年アンゴラの経済悪化の影響から、同州の経済状況も悪くなり、犯罪件数が増えている。

首都ウィントフックで発生している車上荒らし（スマッシュアンドグラブ）や住居不法侵入については、犯行グループが銃器を所持していることもある為、不必要な抵抗は避けた方が良い。なお、ナミビア警察によると、犯罪者はグループのケースも多いが、プロの集団のケースは少なく、多くは貧困層の素人集団である。

### 2 外国人に対する犯罪の事例

（1）4月上旬、インド大使館職員宅に、3人組の武装集団が強盗に入ったが、常駐警備員の対応により、けが人も発生することなく、後に3人組は逮捕された。

（2）4月中旬、ウィントフック市内のホテルで邦人観光客が車上荒らしに遭い、パスポートと現金が入ったバッグを盗まれるという事案が発生している。

### 3 薬物・危険ドラッグについて

薬物や危険ドラッグ等の密輸に際して経由地として当国が利用されていることもあるが、ナミビア人によるドラッグの使用率はそれ程高くない。ただし、一部のバーではマリファナを使用している者が出没しているという情報もある為、夜間のバーやクラブなどでは十分に注意して行動する必要がある。

### 4 交通事故

当地で発生する交通事故発生の主な原因は、スピードの出し過ぎや個人の不注意が大半で、直線で片側一車線という道路も大きな要因のひとつ。高齢者や初心者が車の流れを読まずにゆっくり運転している場合や幹線道路で大型トラックが低速で走っている場合、あるいは前方を良く確認せず無謀に追い越すなどの運転により事故を起こすケースが多い。また、飲酒運転手の事故に巻き込まれないよう、注意する必要がある。

### 5 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

6 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

7 対日感情

ナミビア人の日本人に対する感情は良好。

8 日本人安全対策の為にとった具体的措置

在留邦人へのお知らせの発出

○5月22日付, ラマダン月のテロについて注意喚起

○6月13日付, ラマダン月のテロについて注意喚起【更新】 (了)